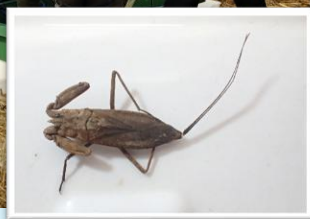


日揮触媒化成による自然共生サイト支援 2025年度活動報告



生き物の楽園“響灘ビオトープ”を守る

北九州事業所のある響灘地域は、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルの拠点であると同時に、国認定の「自然共生サイト」であり、ネイチャーポジティブの拠点の1つ響灘ビオトープに隣接しています。響灘ビオトープは、廃棄物処分場跡地に形成された800種以上の動植物が息づく日本最大級の湿地・草地です。私たちは、水環境の「健全性」の指標となるゲンゴロウやタガメなどの水生昆虫に着目し、減少傾向にある湿地環境の保全と啓発活動を支援しています。

2025年度の主な活動実績

① 水生生物の調査

専門家とともに湿地を調査し、生態系を把握しました。

実績: 2025年 10月実施

結果: 重要種7種を含む計27種の真正水生昆虫※を確認

※「真正水生昆虫」とは、幼虫から成虫までの一生、あるいは大部分を水中・水面で生活する昆虫のこと

② 水生生物の観察会

地域の親子を対象に、湿地の豊かさを体感する場を提供しました。

実績: 2026年 3月20日実施

参加: 親子27人

内容: 専門家の解説を交え、普段目に触れにくい小さな命の役割を学ぶ

これらの活動が環境省から認定され「自然共生サイトに係る支援証明書」を取得しました！

2026年度の主な活動予定

2025年度の活動(調査、観察会)を継続し、さらに調査結果を踏まえ、湿地の水面を覆い尽くしてしまうヒメガマやヨシなどの抽水植物を適切に保全します。これらの支援活動を通して、私たちは、地域社会とともに「自然共生」の未来を創造します。